

Mémoires 2022

第27回 NHKマイルカップ(GI)



すべての力が結集して ダノスコープオン

「最高の状態」×「最高の騎乗」。師弟のタッグで3歳マイル王が誕生した。

1000m通過が57秒4という早いペースで逃げたのは、クロッカスSを勝っているトウシンマカオだった。差がなく京王杯2歳S勝ちのキングエルメスらが追う。1番人気の朝日杯フューチャリティS2着馬セリフォスはその後。ニュージーランドトロフィーを逃げ切ったジャングロは出遅れ、最後方からとなった。

この息の入らない流れを中団の外で追走したのがダノスコープオンだった。大外の18番枠から楽に良いポジションを取り、流れに乗っていく。直線、馬場の真ん中を突き抜けて先頭に立ったダノスコープオンに、大外からシンザン記念勝ちのマテンロウオリオンと、連れてカワキタレブリーが襲いかかる。しかしダノスコープオンの足取りは最後まで衰えず、クビ差のリードを保ってゴールを駆け抜けた。

新馬戦、萩Sと連勝後は朝日杯フューチャリティSで3着。7着となった3歳初戦の共同通信杯は「(馬が)あまりにも苦しい状態で競馬を迎えることになった」と明かした川田将雅騎手。しかしアーリントンCをレースレコードで制し、再び上昇する中で「新馬戦の頃からNHKマイルCが目標だと思っていました」という一戦を迎えた。

川田騎手が「パドックから返し馬にかけて、馬の具合がよいことを確認できました」と馬のコンディションを勝因に挙げれば、川田騎手のデビュー時の「師匠」である安田隆行調教師は「ジョッキーがいいスタートからうまく乗ってくれました」と鞍上を絶賛。3度目の師弟コンビのGI制覇は、まさに両者が力を合わせて成し遂げたものとなった。

第27回NHKマイルカップ(GI)

5/8 東京競馬場 1600m(芝・左)曇・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ダノスコープオン	牡	3	57	川田 将雅	安田 隆行	1:32.3	④	⑦⑥
2	マテンロウオリオン	牡	3	57	横山 典弘	昆 眞	クビ	③	⑫⑬
3	カワキタレブリー	牡	3	57	菅原 明良	杉山 佳明	クビ	⑩	⑮⑭
4	セリフォス	牡	3	57	福永 祐一	中内田充正	1 1/4	①	⑤⑥
5	インダストリア	牡	3	57	D.レーン	宮田 敬介	クビ	②	⑩⑧
6	キングエルメス	牡	3	57	坂井 瑞星	矢作 芳人	3/4	⑥	③②
7	ジャングロ	牡	3	57	武 豊	森 秀行	1/2	⑨	⑮⑩
8	トウシンマカオ	牡	3	57	戸崎 圭太	高柳 瑞樹	1 1/4	⑪	⑪①
9	アルーリングウェイ	牝	3	55	藤岡 佑介	藤岡 健一	1 1/2	⑤	⑭⑭
10	タイセイティバイ	牡	3	57	松若 風馬	高野 友和	1/2	⑩	⑤④
11	ソリタリオ	牡	3	57	鮫島 克駿	西村 真幸	クビ	⑬	⑩⑫
12	ダンテスヴュー	牡	3	57	吉田 隼人	友道 康夫	ハナ	⑫	⑫⑫
13	ステルナティア	牝	3	55	池添 謙一	木村 哲也	1	⑭	⑨⑨
14	セイクリッド	牝	3	55	菊沢 一樹	大根田裕之	クビ	⑬	⑮⑮
15	フルバレイ	牡	3	57	M.デムーロ	須貝 尚介	1 1/2	⑧	⑫⑪
16	オタルエバー	牡	3	57	横山 和生	中竹 和也	1/2	⑮	②②
17	ソネットフレーズ	牝	3	55	横山 武史	手塚 貴久	4	⑦	⑦⑨
18	フォラブリューテ	牝	3	55	大野 拓弥	宮田 敬介	7	⑯	③④

単勝 ⑧710円 複勝 ⑮260円 ①260円 ⑩4,780円 枠連(1-8) 1,190円
馬連 ①-⑮2,490円 馬単 ⑮-①4,820円 ワイド ①-⑮1,110円 ⑩-⑮48,720円 ①-⑩40,660円
3連複 ①-⑩-⑮416,750円 3連単 ⑮-①-⑩1,532,370円

ハロンタイム 12.2-10.5-11.4-11.5-11.8-11.1-11.5-12.3
通過タイム 600m⑮34.1-800m⑮45.6-1000m⑮57.4-1200m⑮1:08.5-1400m⑮1:20.0



優勝馬:ダノスコープオン

2019.2.22生 牡 鹿毛
父:ロードカナロア
母:レキシールー
母の父:Sligo Bay
生産:新ひだか・ケイアイファーム
馬主:(株)ダノックス